

第20回関東実業団・関東大学バスケットボールオールスター対抗戦

【女子】

試合区分 No.1

開催期日 平成29年12月16日(土)

開始時間 12:00

主審 本間 さとみ

開催場所 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

副審 佐々木 春花

関東実業団選抜	69	18 1P 22 12 2P 24 11 3P 25 28 4P 14 OT OT	85	関東大学選抜
---------	----	--	----	--------

関東実業団女子選抜と関東大学女子選抜の一戦。序盤こそ、両者一步も譲らない点の取り合いとなったが、その後、シュートを決めきれない関東実業団選抜に対し、関東大学選抜は勢いのあるプレイから確実に得点を重ね、前半終了30-46と二桁リードを得て試合を折り返す。後半に入っても流れは変わらず、関東大学選抜がインサイド陣を中心のオフェンスを展開し、連取、第3ピリオド終了時41-71と大きくリードを広げる。終盤、関東実業団選抜は、三井住友銀行#21平田が第4ピリオド15点と躍動し、ミツウロコ#7上原もドライブで続き猛追するも、開いた点差は大きく。69-85と関東大学選抜が勝利し、2年ぶり、17回目の勝利を果たした。

第1ピリオド、開始早々、関東大学選抜医療保健大#7王がゴール下で先制すると、筑波大#12松本もレイアップで続き、一歩リードする。しかし、関東実業団選抜も負けじとTOTO#6五十嵐のドライブなどで対抗し、譲らない。その後しばらく、関東実業団選抜はTOTO#5小泉や、ミツウロコ#7上原を中心に、関東大学選抜は白鷗大#4星や、医療保健大#25津村を中心に加点し、関東大学選抜がリードを保ちながら、両者激しい点の取り合いとなる。残り4分半、関東実業団選抜は、TOTO#6小泉の3Pシュートで同点に追いつくも、関東大学選抜は早稲田大#24今仲がインサイドで返す。さらに早稲田大#21高田も続き、18-22。関東大学選抜がリードし、第1ピリオド終了。

第2ピリオド、開始から医療保健大#14岡田や、医療保健大#32永田が中心に攻め込み、得点を重ねる関東大学選抜に対し、関東実業団選抜は、三井住友銀行#21平田の得点のみとなり、その差は広がる。さらにその後、勢いの衰えない関東大学選抜は、早稲田大#33中田のバスケットカウントを沈めると、拓殖大#35水野もドライブを決めきり、残り3分で22-36とリードを伸ばす。関東実業団選抜はたまたずタイムアウトを請求し体制を整えると、三井住友銀行#8中村がマルチに活躍し喰らい付くも、終盤、関東大学選抜は医療保健大#13平末が味方を活かすアシストで得点に繋げ、最後には拓殖大#35水野の3Pシュートも決まり、30-46。関東大学選抜がリードを大きく広げ、前半を終える。

第3ピリオド、開始早々、関東実業団選抜は、ミツウロコ#7上原がバスケットカウントを沈めると、メディセオ#8井齋もジャンプシュートを沈め、好調な滑り出しとなる。しかしその後、関東実業団選抜は、アウトサイドシュートを狙うも悉く外れ、失速。一方の関東大学選抜は、筑波大#45佐藤、早稲田大#33中田らインサイド陣が奮闘し、四連取、リードを20点まで広げる。終盤に入っても流れは変わらず、関東実業団選抜は、ミツウロコ#13川上のアウトサイドなどで対抗するも、関東大学選抜は拓殖大#23ヤシンの高さを活かしたオフェンスで得点を重ねる。41-71と関東大学選抜がリードを30まで広げ、最終ピリオドへ。

第4ピリオド、序盤、関東大学選抜は早稲田大#21高田も3Pシュートを沈め、流れを継続する。しかし中盤に入ると、関東実業団選抜は、三井住友銀行#21平田が約2分間で9得点と躍動し、追い上げる。一方の関東大学選抜は相手のプレッシャーディフェンスを前に攻めきることができず、スコアが伸び悩む。終盤、流れに乗る関東実業団選抜は、ミツウロコ#7上原のバスケットカウントに続き、三井住友銀行#21平田が3Pシュートを沈める。さらに、ミツウロコ#7上原がスティールから二本のドライブを沈め猛追するも、開いた点差は大きく。69-85と関東大学選抜が大差をつけて勝利し、昨年の雪辱を果たした。